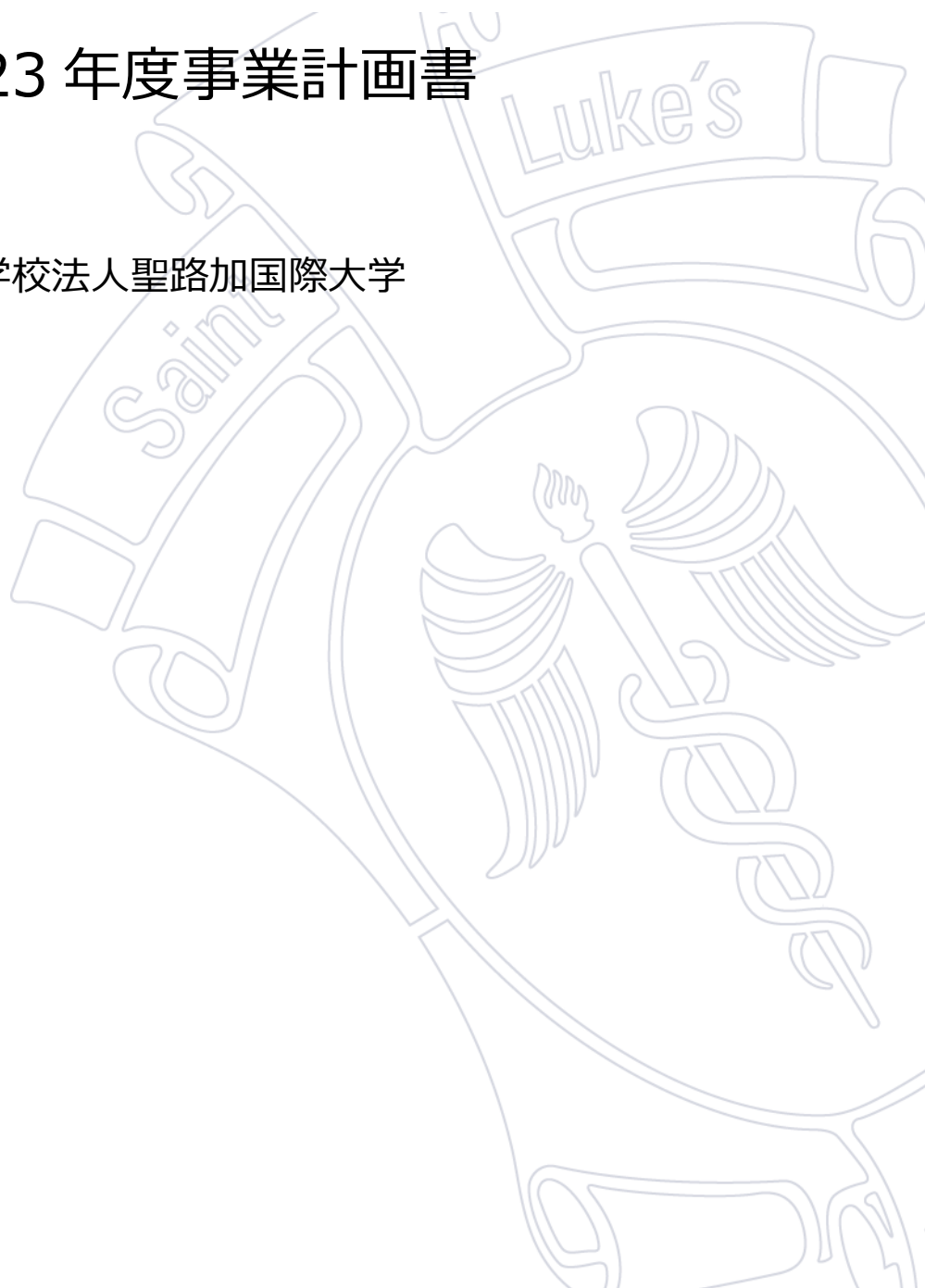


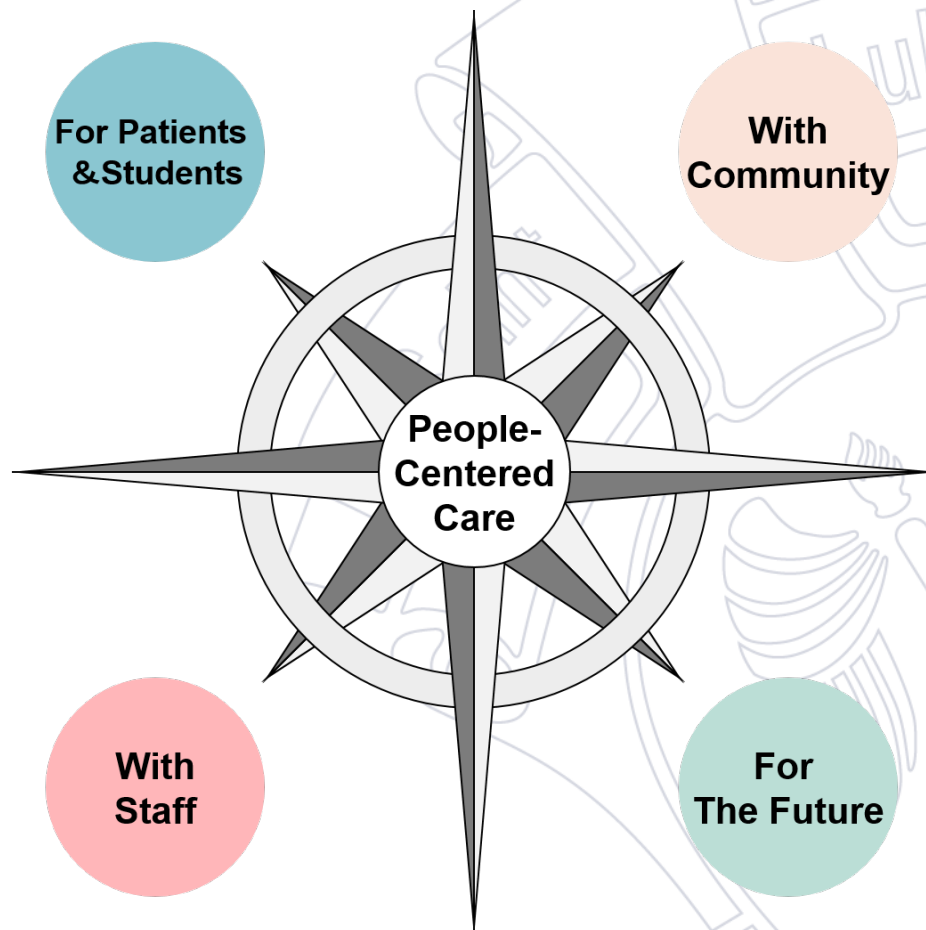
# 2023 年度事業計画書

学校法人聖路加国際大学



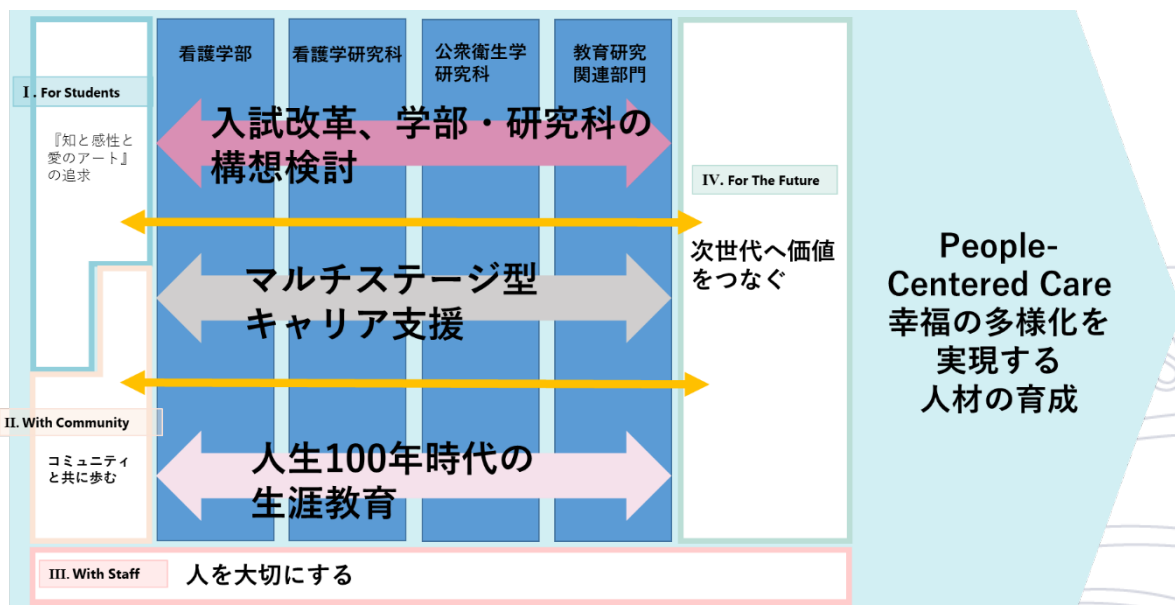
## 基本コンセプト

中期計画 2030 の策定にあたり、当法人の共通する価値観であるコアバリューを People-Centered Care（以下「PCC」）と定め、これに基づく運営の基本方針の再設定と詳細な中期計画策定への展開を実施することといたしました。



# 聖路加国際大学

当法人の理念、大学の理念、大学の教育に係る方針等に掲げる使命を果たすため、当法人のコアバリューである PCCのもと、4つのコンセプト「For Students」「With Community」「With Staff」「For the Future」を掲げ、2023-2029 年度においては以下の3本の柱を設定し、時代の要請を踏まえた各施策に取り組めます。



【For Students】：『知と感性と愛のアート』の追求

○中期計画

- ①学修者本位の教育を実現する教学マネジメントを構築します。
- ②時代の変化を見据えた教育改革（教育 DX を含む）に取り組めます。
- ③学生の多様なキャリアを支援します。

【With Community】：コミュニティと共に歩む

○中期計画

- ④人生 100 年時代の生涯教育について取り組めます。
- ⑤SDGs への貢献に取り組めます。

【With Staff】：人を大切にする

○中期計画

- ⑥パフォーマンス向上を実現する教育研究組織の最適化に取り組みます。
- ⑦研究環境の向上（DX 推進含む）を図ります。
- ⑧教職員のワーク・エンゲージメント向上施策に取り組みます。

【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

○中期計画

- ⑨VUCA 時代に即した内部質保証体制を構築します。
- ⑩財務強化と組織レジリエンスの向上に取り組みます。



# 聖路加国際病院

当法人のコアバリューである PCCのもと、運営の基本方針 12 項目に基づき、中期計画として以下の 27 項目を設定しました。

## 【For Patients】：一人ひとりを尊重する

1. 一人ひとりの多様な価値観や社会的背景に寄り添い、患者自身の意思が尊重される医療を提供するとともに、社会的支援に取り組みます。

### ○中期計画

- ①患者経験調査の充実と結果の向上を目指します。
- ②患者さんの多様な価値観や社会的背景に配慮した意思決定支援の実践と強化します。
- ③患者さんの多様性に合わせた診療の在り方、設備の整備を推進します。
- ④患者さんの社会的課題に対する支援体制の強化を行います。

2. 高度急性期の特定機能病院として、世界水準の安全で総合的な医療サービスを国内外に提供します。

### ○中期計画

- ⑤高度な総合医療の提供に取り組みます。
- ⑥ロボット支援手術の拡大を図ります。
- ⑦さらなる医療安全と質の向上・改善活動を実践します。

3. 質の高い予防医療から治療までサポートできる、包括的なサービスを提供します。

### ○中期計画

- ⑧人生 100 年時代に備え、病院事業の柱の 1 つとして「病気を未然に防ぐ」ことに注力し、質の高い予防医療サービスの差別化と充実を図ります。
- ⑨健診後にスムーズに治療へ移行できるように健診施設と本院との連携を強化します。
- ⑩検査項目の定期的な見直し等により社会のニーズに対応します。

4. デジタル技術を活用して医療の利便性の向上と効率化に取り組むとともに、温かみのある医療を提供します。

### ○中期計画

- ⑪デジタル技術を積極的に取り入れ、患者対応業務の自動化等、オペレーションの効率化と利便性の追求を図ります。
- ⑫オンライン診療の推進を図ります。

【With Community】：コミュニティと共に歩む

5. 地域・市民の公衆衛生、ヘルスリテラシーの向上に貢献します。

○中期計画

⑬大学との協働による地域・市民のヘルスリテラシー教育を実施します。

⑭患者アドボカシーの実践に注力します。

⑮中央区との包括連携協定の更なる充実を図ります。

6. 地域医療をはじめ、災害時や新興感染症等の感染拡大時に、柔軟で適応可能な医療提供体制の強化を図ります。

○中期計画

⑯災害時や新興感染症拡大時に、継続可能な医療提供体制の検討と設備の強化を進めます。

7. 地域の医療機関や介護施設等との連携を通じて、シームレスな医療提供を目指します。

○中期計画

⑰地域の医療機関や介護施設ならびに行政等との連携体制の見直しと強化を図ります。

【With Staff】：人を大切にする

8. 多様な働き方を支援するとともに、職員が安全で働き甲斐のある職場環境を提供します。

○中期計画

⑱安心・安全で、働き甲斐のある職場環境と人事制度の整備を行います。

⑲デジタル技術の活用やIT化等のDXを推進し、業務の効率化・合理化を図ります。

9. 高度な職能教育を行うとともに、幅広い教養と豊かな人間性の向上を支援し、全人的医療の担い手を育成します。

○中期計画

⑳職能教育や教養教育等、職員教育の強化により各職種の専門性を高めます。

㉑当院における専門研修プログラムの在り方の検討を行います。

【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

10. 次世代の医療を見据え、新しい治療法や医療技術の開発・研究に取り組むとともに、環境負荷を低減する病院を目指します。

○中期計画

㉒地球環境に配慮し、持続可能な社会に相応しい体制を検討します。(グリーンホスピタル)

㉓20数年後に想定される病院施設の建て替えを踏まえ、法人全体の将来構想委員会(仮称)を設置

し、将来計画の基本方針ならびに計画立案の検討を進めます。

㊸研究開発支援体制のさらなる強化を行います。

11. 病院運営におけるデータの活用を推進します。

○中期計画

㊸AIの活用やDXの実践などを通じて、病院運営における医療情報データのさらなる活用を行います。

㊸情報システムの刷新を図るべく、次期情報システムの開発計画を策定し実行します。

12. 将来にわたる発展のため、財政基盤の安定化を図ります。

○中期計画

㊸次期病院建設計画を視野に、中長期財政計画に基づき、医業収支の改善と財政基盤の安定化に取り組みます。



## 2023 年度事業計画

### I. 教学に関する事項

#### 【For Students】『知と感性と愛のアート』の追求

##### 1. 学修者本位の教育を実現する教学マネジメントの構築

各学部・研究科の「学位授与方針」「教育課程編成・実施方針」「学生の受け入れ方針」に基づき、学修者本位の教育を実現しながら教育目標を達成するために必要な事業に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、Vision2030 のゴールとなる“People-Centered Care 幸福の多様化を実現する人材の育成”を長期的視点で見据えつつ、第 I 期に取り組むべき課題を特定し、教育課程・授業運営・学修支援・学習環境等の項目について、目標達成に向けた取り組みを行います。

##### 2. 時代の変化を見据えた教育改革（教育 DX を含む）

Vision2030 の達成に向け、時代の変化を見据えた必要な教育改革に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、大学の理念を実現する上で、時代の多様な変化を踏まえ取り組むべき諸課題：入試改革、教育課程（新学部・研究科構想）、教育環境（DX・学術情報等）、国際性、正課外活動等の検討・実施に取り組みます。

##### 3. 学生の多様なキャリアを支援

社会の変化と学生の多様化に対応した進路・キャリア支援に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、就職支援部門を設置し、情報提供・ガイダンス・個人相談のサービス等について窓口を一元化して提供します。また、正課教育でのキャリア支援の検討・実施を行います。

#### 【With Community】コミュニティと共に歩む

##### 4. 人生 100 年時代の生涯教育

Vision2030 の達成に向け、人生 100 年時代の生涯教育の提供に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、“People-Centered Care 幸福の多様化を実現する人材の育成”を実現するための教育プログラムの提供について対象（市民・学生・医療従事者・研究者・教員）ごとに関連部門で検討し、第 II 期における生涯教育提供の枠組みを構築します。

##### 5. SDGs への貢献

People-Centered Care 幸福の多様化を実現する人材の育成”の実践と、Vision2030 の達成に向けた事業に取り組みます。



中期目標第 I 期（2023～2024）では、SDGs ゴール「3.すべての人に健康と福祉を」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」を中心とした関連課題について全学的に取り組み、持続可能な社会の実現にむけた取り組みを推進してまいります。

#### 【With Staff】人を大切にする

##### 6. パフォーマンス向上を実現する教育研究組織の最適化

Vision2030 の達成に向け、教職員のパフォーマンス向上を実現する教育研究組織の最適化に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、全学組織と委員会・会議の位置づけを整備し、大学の理念・目標と中期計画を達成するため組織構造の最適化を図ります。目標に対する会議体の位置づけと、適切な構成員の配置に取り組みます。

##### 7. 研究環境の向上（DX 推進含む）

Vision2030 の達成に向け、研究環境の向上（DX 推進含む）を図ります。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、研究促進に向けて必要とされる課題を特定し、環境充実に向けた取り組みを行います。

##### 8. 教職員のワーク・エンゲージメント向上

Vision2030 の達成に不可欠となる教職員のワーク・エンゲージメント向上施策に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、Vision2030 の達成に向け個々の教職員の中期計画事業に対するエンゲージメントを高める方策について検討し、取り組みを行います。

#### 【For The Future】：次世代へ価値をつなぐ

##### 9. VUCA 時代に即した内部質保証体制の構築

Vision2030 施策の実行に向け、確実な内部質保証体制を構築します。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、全学内部質保証推進組織である自己評価委員会が中心となり、学内各部門における PDCA サイクルを機能させる取り組みを推進し、定期的な点検・評価を行うとともに、実施の適切性を担保する上での課題の特定と改善に取り組みます。

##### 10. 財務強化と組織レジリエンスの向上

Vision2030 の達成に向け、財務強化と組織レジリエンスの向上に取り組みます。

中期目標第 I 期（2023～2024）では、教育振興基金等の寄付財源の獲得に向けた効果的な方策について検討し、取り組みを行います。

## Ⅱ. 聖路加国際病院に関する事項

### 1. 病院機能のあり方の転換

高度急性期病院として、高度な技術と体制を整備し、救命救急センターの少ない地域における使命として、脳疾患・心疾患をはじめとする高度急性期の患者を受け入れ、治療する医療提供体制を整備します。特に外来機能について、再診中心の外来から、「入院につながる外来」・「高度な医療を必要とする外来」への転換を目指します。また、地域の医療機関への支援等、連携を強化し、効率的な転院の促進と入院患者の獲得、および専門的な外来機能へのシフトに取り組みます。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画①・②・③・④・⑤・⑦・⑪・⑫)

【With Community】：(中期計画⑭・⑮・⑯・⑰)

【With Staff】：(中期計画⑱・⑲・⑳・㉑)

【For The Future】：(中期計画㉔・㉕)

### 2. 手術室の効率的運用について

高度急性期の特定機能病院として、特に予定手術および緊急手術の減少と運用上の課題について、現状の手術室運営の継続的な見直しが必要であることから、手術室運営時間の延長や、手術枠の運用ルール変更、手術室の増設等の課題が認識されています。

この課題の解決に向け、以下の取り組みを行います。

- (1) 各診療科の課題解消・集患
- (2) 手術室における緊急手術の受け入れ体制整備
- (3) 手術室運営改善 WG の設置による手術室の運用見直し
- (4) 手術室以外の要因に関する分析および対策立案

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画⑤・⑥・⑦)

【With Community】：(中期計画⑰)

【With Staff】：(中期計画⑱・⑲・⑳)

【For The Future】：(中期計画㉕)

### 3. 救急患者の受け入れ態勢の整備

現状において、救命救急センターで治療してもベッドが空いていないため、入院できず転院するケースが増加している課題に対し、入院を必要とする多くの患者への更なる対応を可能とするため、ICUの後方病床の設置を計画します。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画③・⑤・⑦)

【With Community】：(中期計画⑬)

【With Staff】：(中期計画⑱・⑲)

【For The Future】：(中期計画㉑)

### 4. 健診3事業の安定稼働と今後の展望

予防医療センター、宿泊ドック、メディローカスの3つの事業と本院との連携を強化し、健診から治療まで包括した医療提供体制を構築するとともに、健診事業全体での人材の効率的配置や、健診項目の見直し、健診システムを統合する等の取り組みを行うことにより、効率的運営の実現と、質の高い予防医療サービスの差別化および充実を図ります。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画⑧・⑨・⑩)

【With Community】：(中期計画⑬)

【With Staff】：(中期計画⑲)

【For The Future】：(中期計画㉑)

### 5. 全体最適に基づく病院運営

コロナ禍で不安定な病院運営を強いられる中、断ることなく、可能な限り多くの患者を受け入れることに病院一丸となって取り組みます。そのためには、部分最適の意識から全体最適の意識への転換を図り、質の高い医療とスムーズな病院運営を目指し、各職種・部署が互いに尊重、協力し、強固な連携体制を築くための取り組みを行います。

⇒該当する中期計画

【For Patients】：(中期計画⑦・⑪)

【With Community】：(中期計画⑬・⑰)

【With Staff】：(中期計画⑱・⑲・⑳)

【For The Future】：(中期計画㉑)

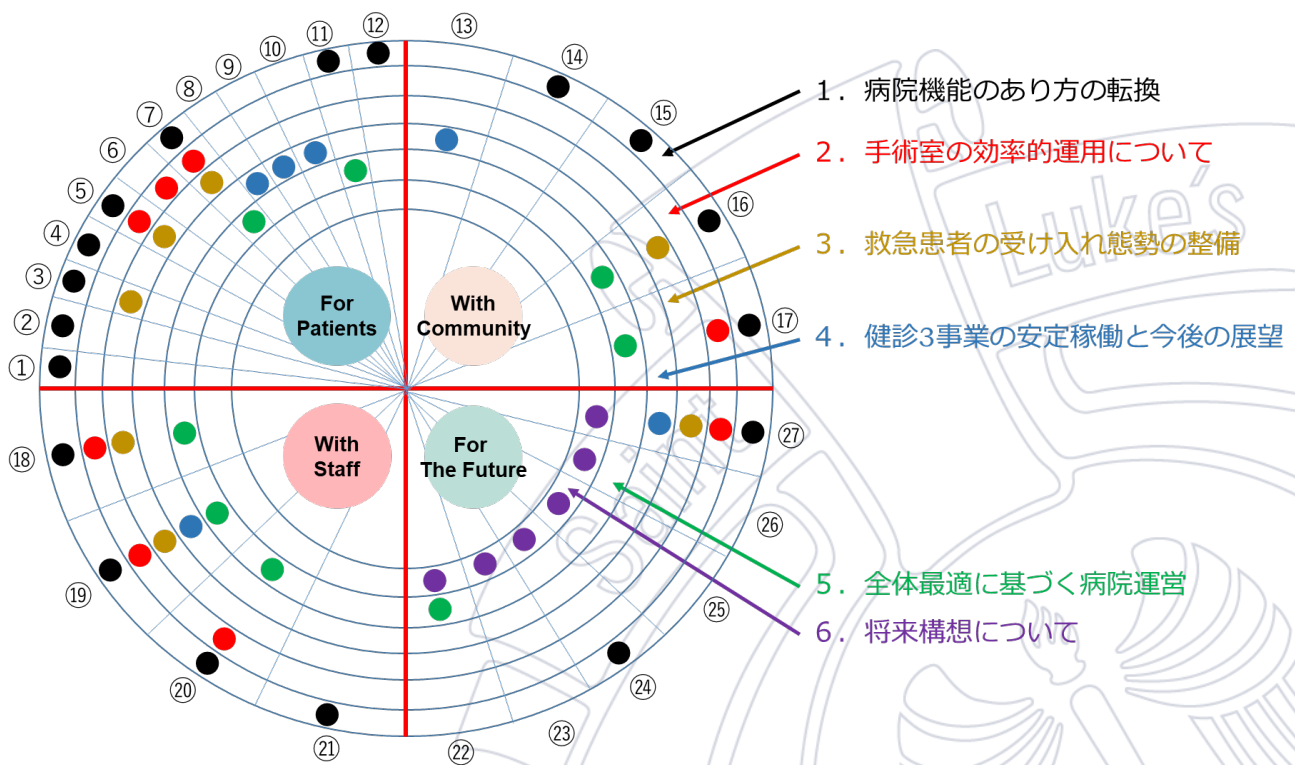
## 6. 将来構想について

20 数年後に想定される病院施設の建て替えを踏まえ、病院における将来計画の基本方針ならびに計画立案の検討を開始します。

⇒該当する中期計画

【For The Future】：(中期計画②②・②③・②④・②⑤・②⑥・②⑦)

2023 年度病院事業計画に該当する中期計画



### Ⅲ. 人事に関する事項

- (1) 安心・安全で、働き甲斐のある職場環境を整備するために、
  - ①管理者研修・考課者研修を通じて適切な評価と人材育成を行うとともに、
  - ②ハラスメント教育と相談体制の整備を進めていきます。
- (2) 有機的かつ効率的な組織体制を検討するとともに、ワーキング・グループを立ち上げて、各組織の損益状況も考慮した合理的な人員数の管理を検討します。
- (3) デジタル技術の活用・IT化等のDXを推進し、業務の効率化・合理化を図るために、勤怠管理システムや各種手続きのデジタル化に着手します。

### Ⅳ. 施設に関する事項

長期設備計画に基づき、中期計画に定めた施設に関する事項のうち、2023年度は特に医療施設について、病院本館における今後の医療機能維持のため、以下の設備の更新を重点的に実施します。

- ①病院本館受変電設備更新工事
- ②病院本館中央監視装置更新工事
- ③病院本館ナースコール設備更新工事
- ④病院本館患者用エレベーター更新工事

### Ⅴ. 財務に関する事項

#### ①収支改善への取り組み

予算策定において、中期計画における達成目標を実現するための経営資源（ヒト、モノ、カネ）の効率な配分を行うため、

- (1) 医療安全・教育・法規制の観点から必須と考えられるもの
- (2) 早期の投資回収が見込めるもの（収入増加・費用削減が見込めるもの）を優先的に、それ以外の経費については引き続きコスト削減に向けた活動を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ収支改善に取り組みます。

上記の取り組みを通じて学校法人としての財務の安全性を維持し、引き続き健全な学校法人経営に努めます。

#### ②将来の大学・病院建て替えに向けた資金計画の実行

将来の大学・病院建て替えに向けて想定される金額のうち自己資金として手当てすべき金額を毎期安定して積み立てていきます。